

2023年10月27日

「女性活躍・ダイバーシティに関する企業調査（2023年）」について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）の子会社である常陽産業研究所（代表取締役社長 下山田 和司）は、このたび、「女性活躍・ダイバーシティに関する企業調査（2023年）」を実施しましたので、その結果を下記のとおりお知らせいたします。

当社は、地域のシンクタンクとして各種調査研究および総合金融サービスの提供を通じ、今後とも、地域の課題解決のためのさまざまな情報発信および取り組みを展開し、地域の成長と活性化に貢献してまいります。

記

1. 調査結果

当社では、「茨城県内主要企業の経営動向調査（2023年7～9月期）」の特別調査として、「女性活躍」および「ダイバーシティ&インクルージョン」（以下、D&I）の取り組み状況などに関する調査を実施しました。女性活躍の調査は4回目、D&Iの調査は2回目となります。

県内企業における女性活躍の取組率は49.7%と、2年連続で低下し、5割を下回りました。また、女性活躍を除くD&Iの取組率は15.0%に留まりました。業種や企業規模別にみると、製造業や中小企業を中心に、女性活躍・D&Iの取組率が足踏みしている様子がうかがえます。

経済活動の正常化等を受けて人手不足が深刻化する中、人材確保の観点からも、女性活躍やD&Iの取組意義は増えています。今後は、業種や規模を問わず、幅広い企業において、女性活躍・D&Iの取組の開始ないし拡大がより一層求められるとみられます。

なお、調査結果の詳細は別紙を参照してください。

2. 調査の特徴

本調査は、2023年9月に茨城県内企業197社（製造業85社、非製造業112社）からの回答を取りまとめたものです。従業員300人以上の大企業から、30人未満の企業まで幅広く調査対象としています。

以 上

本件に対するご照会は、下記までお願いいたします
常陽産業研究所 地域研究部 地域研究センター：茂木・荒澤
029-233-6734

【女性活躍・ダイバーシティに関する企業調査 (2023 年)】

「女性活躍」の取組率は 5 割弱、2 年連続で低下 — 製造業/中小企業における取組率の向上が課題 —

今回調査の概要

当社は 2023 年 9 月、「女性活躍」および「ダイバーシティ (多様性) & インクルージョン (包摂)」(以下、D&I) の取り組み状況などに関するアンケート調査を実施した。なお、女性活躍に関する調査は 4 回目、D&I に関する調査は 2 回目となる。

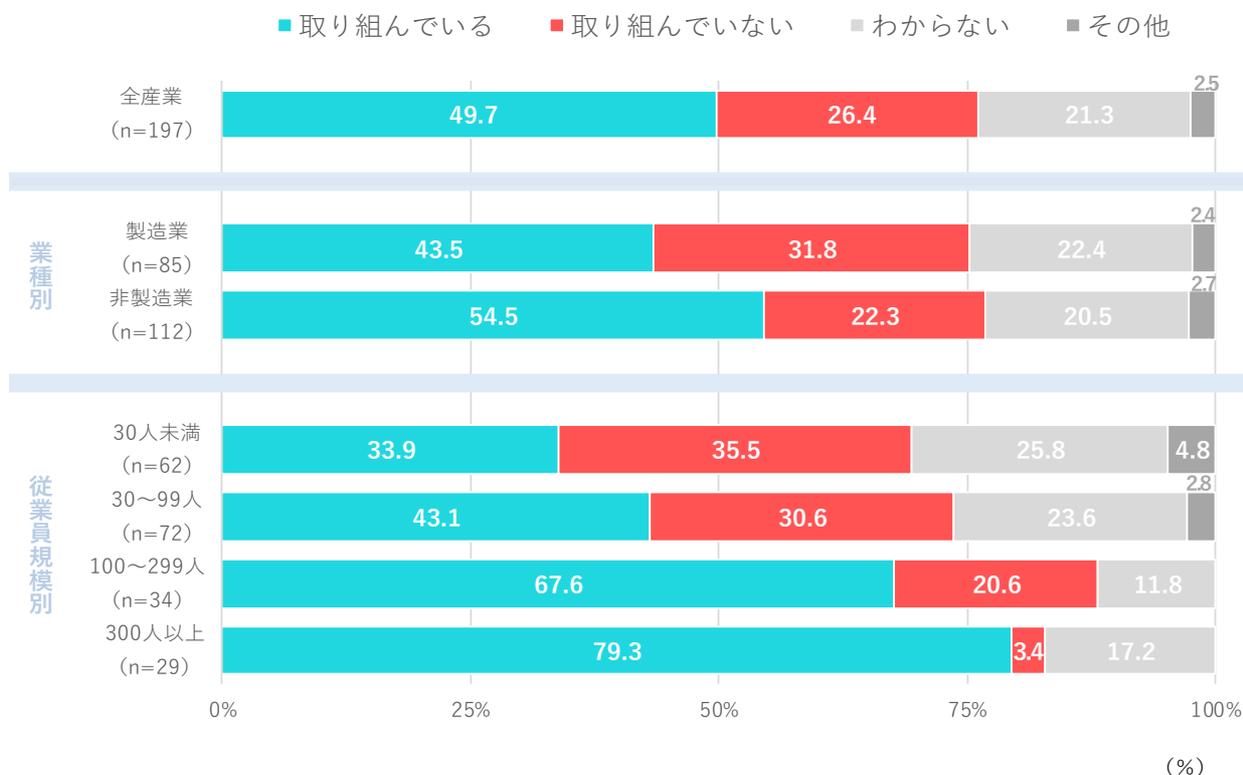
女性活躍の取り組み状況については、「取り組んでいる」が 49.7%、「取り組んでいない」が 26.4%、「わからない」が 21.3%、「その他」が 2.5% だった (図表 1-1)。前年と同様、「取り組んでいる」割合は従業員規模が大きいほど高く、小さいほど低くなっており、300 人以上の 79.3% に対し、30 人未満は 33.9% に留まっている。一方、女性活躍を除く D&I の取り組み状況は、「取り組んでいない」が 46.0%、「取り組んでいる」が 15.0%、「わからない」が 39.0%、「その他」が 0.0% だった (図表 1-2)。D&I も従業員規模によって取組率に開きがあり、300 人以上では 4 割を超える一方、100~299 人では約 2 割、99 人以下 (30 人未満および 30~99 人) では約 1 割となっている。

これまでの調査における「取り組んでいる」割合の推移をみると、女性活躍は 2021 年の 52.9% をピークに、2 年連続で低下している (図表 1-3)。業種別にみると、非製造業が上昇ないし横ばい圏内で推移しているのに対し、製造業は調査開始以来、右肩下がりの傾向が続いており、製造業における取組率の向上が課題となっている模様だ。また、今回で 2 回目となる D&I については、前年比 1.6pt 上昇したものの、女性活躍と同様に、製造業の取組率に伸び悩みがみられる。

女性活躍に「取り組んでいる」企業の取組内容は、「女性の積極採用」が 74.2% で最も多く、次いで「女性の役員・管理職への積極登用」が 45.4%、「勤務形態の多様化」が 35.1% などとなった (図表 2-1)。上位 5 項目について業種別にみると、製造業・非製造業で順位は同一であるものの、取組率は非製造業の方が高く、最大で 12.2pt の差が生じている (図表 2-2)。なお、D&I の取組内容については定性調査項目を設けていないが、D&I を推進している企業からは、障がい者、外国人などの雇用促進・就業環境整備や、性的マイノリティに対する理解促進を実施しているとの声が聞かれる。

今回の調査では、製造業や中小企業を中心に、女性活躍・D&I の取組率が足踏みしていることなどが確認された。経済活動の正常化等を受けて人手不足が深刻化する中、人材確保の観点からも女性活躍・D&I の取組意義は増している。今後は、業種や規模を問わず、幅広い企業において、女性活躍・D&I の取組の開始ないし拡大がより一層求められるだろう。

図表 1-1 女性活躍の取組状況（業種・従業員規模別）



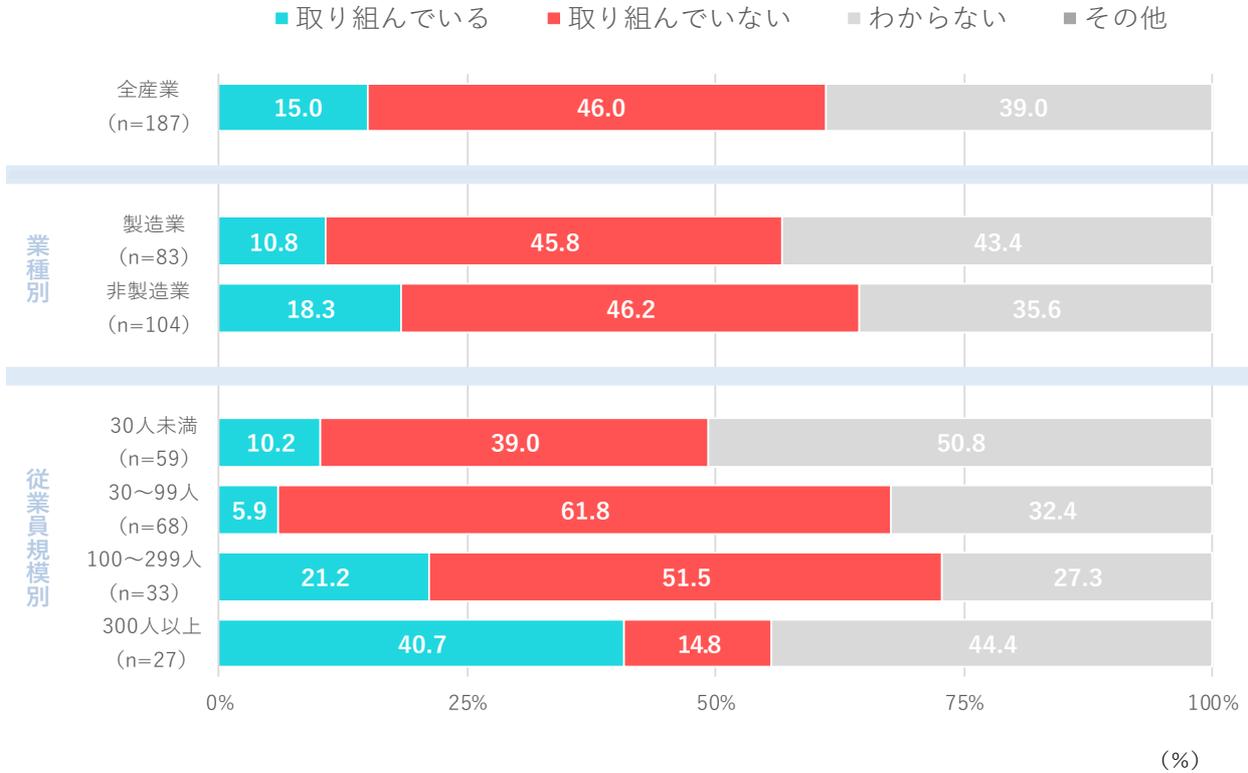
	取り組んでいる	取り組んでいない	わからない	その他	DI 〔取り組んでいるーいない〕
全産業	49.7 (50.8) -1.1	26.4 (23.0) +3.4	21.3 (21.5) -0.2	2.5 (4.7) -2.2	23.3 (27.8) -4.5
製造業	43.5 (48.1) -4.6	31.8 (23.5) +8.3	22.4 (21.0) +1.4	2.4 (7.4) -5.0	11.7 (24.6) -12.9
非製造業	54.5 (52.7) +1.8	22.3 (22.7) -0.4	20.5 (21.8) -1.3	2.7 (2.7) ±0.0	32.2 (30.0) +2.2
30人未満	33.9 (33.3) +0.6	35.5 (30.0) +5.5	25.8 (30.0) -4.2	4.8 (6.7) -1.9	▲1.6 (3.3) -4.9
30~99人	43.1 (52.7) -9.6	30.6 (23.0) +7.6	23.6 (17.6) +6.0	2.8 (6.8) -4.0	12.5 (29.7) -17.2
100~299人	67.6 (62.5) +5.1	20.6 (15.6) +5.0	11.8 (21.9) -10.1	0.0 (0.0) ±0.0	47.0 (46.9) +0.1
300人以上	79.3 (70.8) +8.5	3.4 (16.7) -13.3	17.2 (12.5) +4.7	0.0 (0.0) ±0.0	75.9 (54.1) +21.8

※上段が今回調査値、下段が2022年調査値

出所：常陽産業研究所「女性活躍・ダイバーシティに関する企業調査（2023年）」

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100とはならない（各図表共通）

図表 1-2 D&Iの取組状況（業種・従業員規模別）

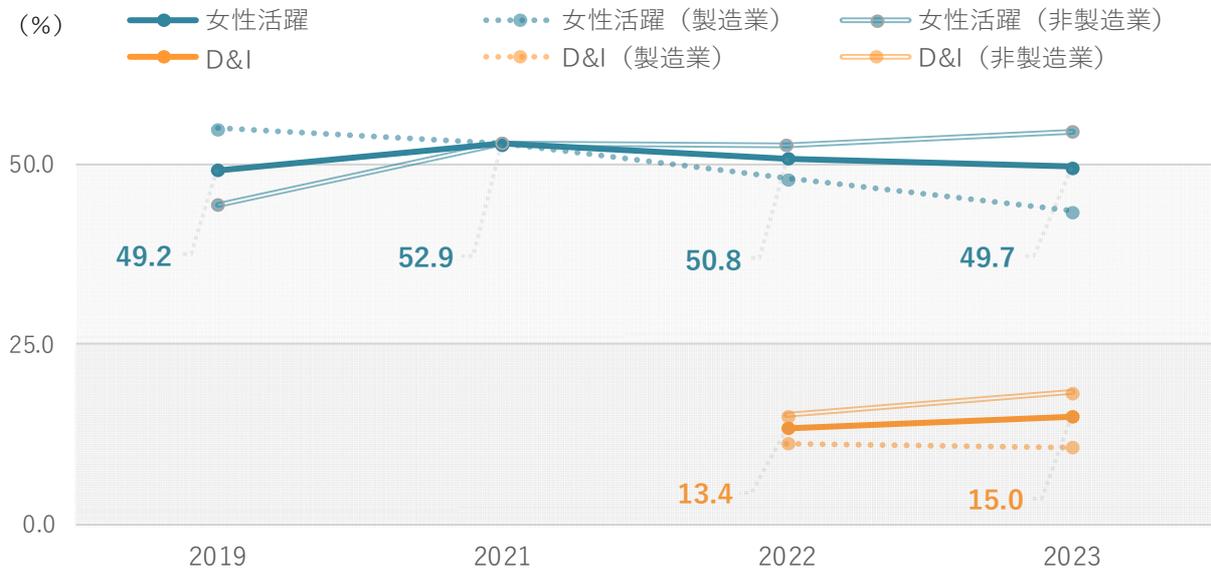


	取り組んでいる	取り組んでいない	わからない	その他	DI 〔取り組んでいるーいない〕
全産業	15.0 ↑ (13.4) +1.6	46.0 ↓ (51.1) -5.1	39.0 ↑ (33.9) +5.1	0.0 ↓ (1.6) -1.6	▲ 31.0 ↑ (▲ 37.7) +6.7
製造業	10.8 ↓ (11.3) -0.5	45.8 ↓ (56.3) -10.5	43.4 ↑ (30.0) +13.4	0.0 ↓ (2.5) -2.5	▲ 35.0 ↑ (▲ 45.0) +10.0
非製造業	18.3 ↑ (15.1) +3.2	46.2 ↓ (47.2) -1.0	35.6 ↓ (36.8) -1.2	0.0 ↓ (0.9) -0.9	▲ 27.9 ↑ (▲ 32.1) +4.2
30人未満	10.2 ↑ (7.0) +3.2	39.0 ↓ (52.6) -12.6	50.8 ↑ (40.4) +10.4	0.0 → (0.0) ±0.0	▲ 28.8 ↑ (▲ 45.6) +16.8
30~99人	5.9 ↓ (8.2) -2.3	61.8 ↑ (50.7) +11.1	32.4 ↓ (37.0) -4.6	0.0 ↓ (4.1) -4.1	▲ 55.9 ↓ (▲ 42.5) -13.4
100~299人	21.2 ↑ (12.5) +8.7	51.5 ↓ (56.3) -4.8	27.3 ↓ (31.3) -4.0	0.0 → (0.0) ±0.0	▲ 30.3 ↑ (▲ 43.8) +13.5
300人以上	40.7 ↓ (43.5) -2.8	14.8 ↓ (43.5) -28.7	44.4 ↑ (13.0) +31.4	0.0 → (0.0) ±0.0	25.9 ↑ (0.0) +25.9

※上段が今回調査値、下段が2022年調査値

出所：常陽産業研究所「女性活躍・ダイバーシティに関する企業調査（2023年）」

図表 1 - 3 女性活躍／D&Iに「取り組んでいる」割合の推移



(%)

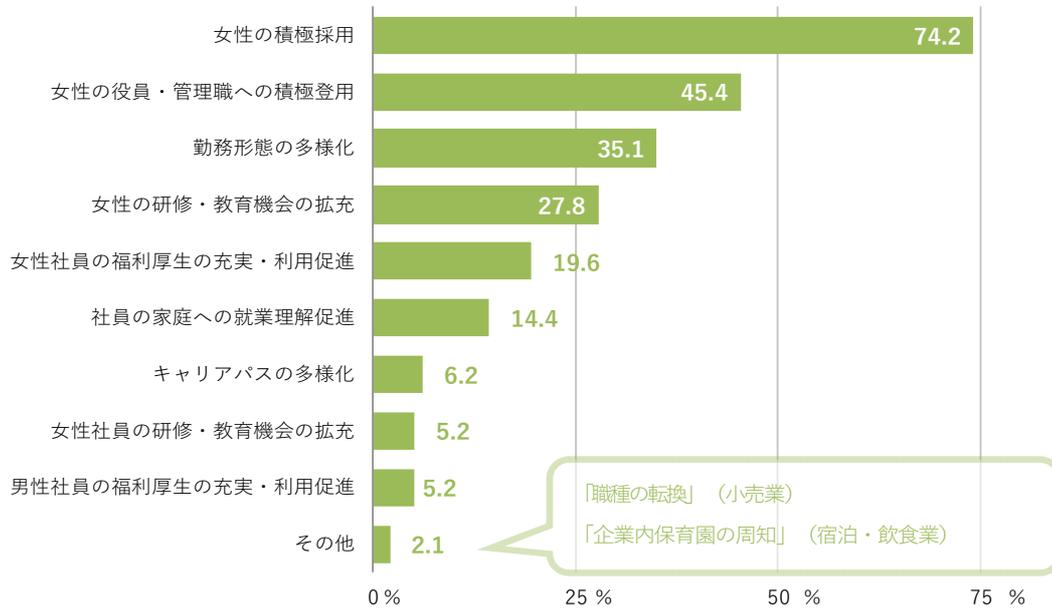
		2019	2021	2022	2023
女性活躍	全産業	49.2	52.9 ↑ +3.7	50.8 ↓ -2.1	49.7 ↓ -1.1
	製造業	55.0	53.0 ↓ -2.0	48.1 ↓ -4.9	43.5 ↓ -4.6
	非製造業	44.3	52.8 ↑ +8.5	52.7 ↓ -0.1	54.5 ↑ +1.8
D & I	全産業			13.4	15.0 ↑ +1.6
	製造業			11.3	10.8 ↓ -0.5
	非製造業			15.1	18.3 ↑ +3.2

※女性活躍の調査は2019年から、D&Iの調査は2022年から実施

※2020年は新型コロナに係る調査を優先したため、調査を実施していない

出所：常陽産業研究所「女性活躍・ダイバーシティに関する企業調査（各年版）」

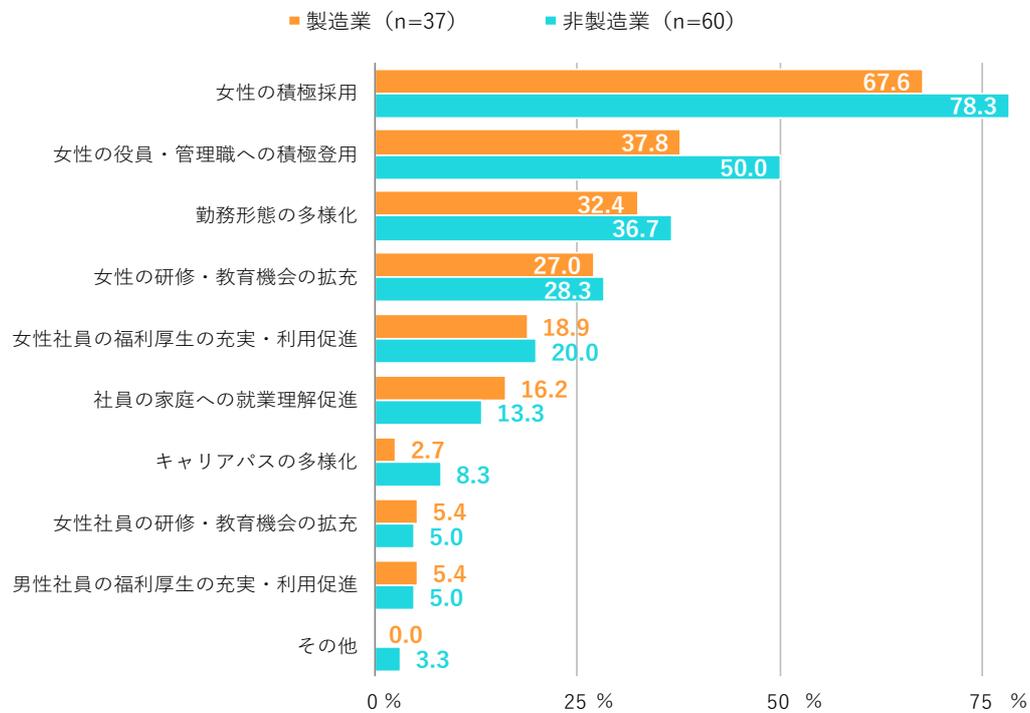
図表 2 - 1 女性活躍の取組内容 (n=97)



※複数回答 (回答数制限なし)

出所: 常陽産業研究所「女性活躍・ダイバーシティに関する企業調査 (2023年)」

図表 2 - 2 女性活躍の取組内容 (業種別)



※複数回答 (回答数制限なし)

出所: 常陽産業研究所「女性活躍・ダイバーシティに関する企業調査 (2023年)」

以上